

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673900108
法人名	医療法人 トウスイ会
事業所名	グループホーム みのり園
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1358-2 (電話) 0996-52-0122
自己評価作成日	平成30年3月5日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

町の中心部に母体病院と隣接して建物が設置されており、ご利用者様には診療や健康管理を安心して任せる環境にあります。
建物内のお風呂場のお湯は温泉で24時間365日お湯が出ており、いつでも入浴可能な環境にあり、入浴を楽しんでいただいています。
職員は基本理念を毎朝復唱し、ご利用者様の尊厳を守るケアを目標に取り組んでいます。ご利用者様が自宅での生活と遜色ない毎日を営んで頂く為に、例えば掃除や洗濯物の管理、炊事場の作業を共同で行ったり、また休みたい時は休んで頂いたりし時間に囚われない自由な日々を過ごして頂き自信と喜びに繋げていけるよう支援しています。また、園庭ではご利用者様と一緒に季節の野菜や花を育て、収穫や散歩時に眺める楽しみを味わっていただいています。気候のよい時期は日光浴を兼ねた散歩や外での体操を継続的に行い、外の空気や季節を味わっていただいたり、リハビリやレクリエーションを毎日実施しており、ご利用者様が退屈せず楽しく毎日が送れるよう色々な取り組みを行っています。他にも、外門や玄関の施錠は行わず、常に開放しており、いつでも出入りが出来、ご家族や友人・知人が立ち寄り易いよう配慮しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 理念や年次目標は、共有スペースに掲示され朝礼などで唱和されている。職員は、ケアプラン会議で理念を評価、ユニットの目標について反省会を行い、理念の見直しについても話し合っている。時間に縛られずありのままの生活、家庭的な雰囲気の中、食事の準備や片付け、洗濯などの家事活動への参加を促し、来訪しやすい解放感のあるホームを目指している。
- 母体医療機関とは、オンコール体制があり、緊急時や重度化、終末期ケアについては、本人や家族の希望や意向を踏まえ、主治医、関係機関とは早い時期から十分に話し合い、事業所の方針や体制を検討した上で本人の望む暮らしや納得のいく最期を迎えられるよう取り組んでいる。
- 入浴は、午後の夕方に近い時間に入浴支援を行っている。基本的に週2回から3回程度入浴支援しているが、利用者の希望や必要性に応じて入浴をしていただくなど臨機応変に取り組んでいる。利用者も温泉浴を満喫しており、入浴を楽しみにされている方も多い。重度化に伴い二人介助で入浴される方もおられるが安全面にも配慮し、入浴が生活の一部で楽しみでもあり、精神面の安定感や気分転換に繋がるよう支援している。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、理念の唱和を職員全員で行い、共有し実践につなげている	理念や年次目標は、共有スペースに掲示され、朝礼などで唱和されている。職員は、ケアプラン会議の中で理念を評価、ユニットごとの目標について反省会を行い理念の見直しについても話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間を通して、公民会、婦人部、保育園等との行事への参加やボランティア受け入れを通じ交流を図っている	自治会への加入はないが、地域行事（七夕祭り、敬老会など）や法人の行事を通じて地域と交流している。夏祭りでは婦人部が踊りを披露して下さったり、保育園児との交流活動、ボランティアや高校の実習生などを受け入れをするなど地域貢献に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	介護の相談や見学はいつでも受け付けている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しており、会議において報告、話し合いを行っており、意見や要望等を職員全員で話し合い実践に努めている	会議は、行政の理解を得て日曜日に家族会と同時開催するなど工夫し多くの家族の参加があった。また、ミニ勉強会を実施するなどして認知症ケアの情報共有をしている。管理者は、なるべく多くの家族が会議に参加していただけるよう全家族に声かけし参加を呼びかけている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の他、必要時には連携を密に取り協力関係を築くよう努めている	担当者とは、電話や面談を行い、相談やアドバイスを受けるなど協力関係を築いている。福祉事務所職員との連携もしている。町主催のケアマネ協議会の研修会、介護職員を対象とした検討会等には積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設け、拘束行為について理解を深め、身体拘束をしないケアを実践している	身体拘束の勉強会は年4回実施しており、転落防止のため夜間帯に2点ベッド柵を使用している方がある。また、帰宅願望が強く家族が付き添い介護している方もおられるが、老老介護の現実や認知症介護の難しさは職員自身が十分理解しており、今後の介護あり方について主治医と相談するなど話し合い、家族に協力をいただきながら認知症ケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議などで虐待が見過ごされていないか話し合い、職員間でも声掛けし合いながら防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は制度がある事を理解しており、必要時は話し合い活用出来るよう努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、署名押印を頂いている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設置し、意見や苦情等の収集に努めている 県や市町村の苦情受付窓口の説明も契約時に伝えている	利用者や家族からは、日常の会話や面談時に意見、要望などを聞き取り、出された意見などは、職員会議や運営推進会議などで話し合い運営に反映させている。職員は、利用者、家族との良好な関係性に努め意見などが出しやすいよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議やケア会議等で職員の意見や提案を聞き、反映させている	管理者は、個別に面談したり、ケアプラン会議や職員会議などで意見、提案などを聞く機会を設けている。有資格者も多く、研修会に参加しやすいよう勤務状況を把握しスキルアップが図れるよう配慮したり、職場環境や勤務条件などを整備し働きやすい環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々が働きやすい環境になるように努め、やりがいや向上心を持って、日々業務に励んでいる		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を受ける機会を設けたり、内部での勉強会を実施している また、未経験者の雇用を促進し働きながら資格が取得出来るよう配慮している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者間での情報交換がある 職員は定期的に町の事例検討会に参加し同業者との交流を図っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談時や入所後も、ご本人の話をじっくり聞き、安心して生活が出来るよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申請時や入所後、話し合いの場を設け、信頼関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人と家族の実情に応じ、必要な支援を見極め、サービスの紹介を行っている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭的な雰囲気を大切に、自由でありのままの生活を共に行えるよう心がけている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族も参加出来る行事を企画したり、いつでも面会出来る環境を整え、共に支えていく関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人がいつでも訪ねて来れるよう配慮している	アドバイザーの方が新聞を提供して下さったり、受診後自宅で昼食を摂り家族と過ごされる方や墓参りや理美容院に家族と行かれる方もあるが、職員は、馴染みの方が気軽に訪ねて来れるよう取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入る事で孤立せずにご利用者同士が穏やかに関わり合えるよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方へも必要に応じて連絡を取り、その後の様子を伺うなど関係を継続している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常にご本人の思いや意向を確認するようにしている 困難な場合でも生活歴などからご本人本位になるよう努めている	職員は、利用者の言動や表情、しぐさから思いを汲み取ったり、家族の意見やアセスメントノートを参考にしてケア会議、カンファレンスなどで話し合い本人の思いを共有するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に生活歴や環境、サービス利用の経過等を把握するようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活を観察し、個々の1日の過ごし方や健康状態を記録に残し、現状の把握を行っている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、職員で話し合いの場を設けたり、何かあればその旨を検討会議などで話し合い、現状に即した介護計画を作成している	毎月、ケアプラン会議を開催し、サービスの進捗状況やモニタリング結果を踏まえ、ケアの方向性やサービス内容などについて話し合い、状態変化があった時は計画の見直しを柔軟におこなっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録等を活用しながら、朝礼や申し送り等で情報を共有しながらケア会議で話し合い、実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族のニーズを尊重出来るような支援に努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、ボランティア、今民会、消防など、当園への協力を頂きながら安全で豊かな暮らしを楽しむ事ができるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当園の運営主体が病院の為、入所時にご本人、ご家族の納得の元安心して医療が受けられる体制である また専門医療も希望に沿って支援している	母体の医療機関が主治医であり、外来受診は職員が対応、他科受診は、家族に依頼するが、都合がつかない時は職員が付き添う。訪問歯科診療や薬剤師との連携があり、常時、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご利用者の健康状態を常に把握し、情報や気づきを共有し合う事で適切な受診が出来るよう支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ご利用者のこれまでの症状や変化を詳しく記録し、情報交換や相談する事で安心して早期退院できるよう努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化や終末期のあり方についてご本人、ご家族の意向を尊重できるよう早い段階から話し合っている 事業所でできる事なども説明した上で納得をいただいている	重要事項説明書にて、「重度化した場合や看取りについてのホームの指針」を説明し同意をいただいている。過去に、看取り経験はない。重度化した場合は、主治医と密に連携を図り、利用者や家族の希望や意向を踏まえて、事業所でできることを十分に説明しながら、必要に応じて医療機関や施設紹介も検討している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な避難訓練の中で、消防職員の指導の下、応急手当や初期対応の訓練を実施している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議の中で災害対策を課題に十分話し合っている 定期的な避難訓練の中で地域の方の協力を頂きながら訓練を行っている	避難訓練時は、自治会長やアドバイザー、民生委員などが見学するなど協力関係を築いている。また、法人の協力関係や体制もある。水や菓子類などの備蓄もある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの尊厳を理念に、ケア会議では個々に合った声かけや関わり方を話し合い、ご本人の人格を損ねないように心がけている	職員は、理念や外部評価の結果を踏まえ、「NG声かけチェック・アンケート」を作成し、一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーに配慮したケアに努められるよう意識づけをおこなっている。また、ケア会議などで不適切な言葉使いや対応をしないよう話し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご本人の思いや希望を表せるよう声かけ、自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の訴えを尊重し、その日をどのように過ごしたいのか希望に沿って実現できるように努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう好みに合わせて支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭きやお茶入れ等、準備や片付けを出来る力を活かしながら実施している 食事を楽しめるように食前体操や雰囲気作りを心がけている	食材は、地元から仕入れるなど地域とのつながりを大切にしている。包丁を使い野菜を刻んだり、テーブル拭き、お茶を入れてもらうなど本人の力量に合わせ無理のないよう食事の準備から後片付けまで職員と一緒に取り組んでいる。花見、遠足には手作り弁当を準備し、外食は家族に協力をいただいている。	

12

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態を把握し、無理なくご本人にも満足して食べていただけるよう、また水分を摂っていただけるよう配慮している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、口腔ケア、義歯洗浄の声かけ、見守りを行い、必要時は介助している 義歯は洗浄剤を使用している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の実態、状況を把握し、声かけしたり、その方に合ったパットを使用して頂き、自立に向けた支援を行っている	布下着、リハビリパンツの方が多く、排泄のリズムを整えてなるべくトイレで排泄ができるよう支援しているが、なかにはトイレの場所が理解できない方もおられるため職員は、注意深く見守りトイレ誘導するなど排泄の自立支援に努めている。年1回、おむつの勉強会を行いおむつの当て方や情報収集を行い、日々のケアに活かしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の1日の水分摂取量等、把握し水分摂取の声かけをしたり、運動を取り入れてスムーズな排泄に向けて取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴時間は決まっているが週に2、3回入浴されている温泉が出る為皆様喜ばれている	温泉にゆっくりと浸かりリラックスできるよう午後からの入浴になっているが、時間や曜日にこだわらず本人の希望や必要性があればいつでも入浴ができるよう配慮している。重度化もあり、二人介助で入浴される方や入浴を好まれない方にはタイミングをはかり、気持ちよく入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝を午後13時～14時頃まで、休みたい方がされている夜は就寝まで自由に過ごされ落ち着いて休めるよう努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に確認できるよう薬管理台帳がある 変更がある時は日誌に記録し把握している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備や片付け、掃除、洗濯物干し、たたみ等できる力を引き出し自信と喜びに繋げている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出を希望された時は、健康状態を把握しながら、必要時は病院の指示を仰ぎ、ご家族に協力を頂いて外出できるよう努めている また、花見や遠足等、気分転換が図れるよう計画を立て実施している	年間の行事計画を作成し、普段はなかなか行けない場所でも計画的な外出支援を行い、花見や遠足などに出かけている。日常は、近隣のホームセンターや薬局に職員と買い物に行ったり、ゴミ捨てに行くなどして戸外に出て気分転換したり、本人の希望に応えられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は事務所で預かり管理しているが、希望される時はご家族へ報告し、了解の下、所持されている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙や電話は希望された時に出来るよう支援している ご家族への伝言等を依頼された時は連絡している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室や共有スペースは毎日掃除し清潔保持に努めている 季節を感じられるように壁等に季節ごとの飾りつけを行っている	玄関から、廊下、リビングへの移動経路には、天井から梅や桜を形取った吊るし飾りが飾られ壁面にも切り紙で季節を表現しているなど季節感満載である。リビングは広く、ウッドデッキ側では利用者が洗濯物を干す手伝いをしている。加湿器や空気清浄器があり温度管理もされ、ソファや椅子に腰かけて思い思いに過ごされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に居室や共有スペースで過ごされている 必要に応じて席替えを行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた寝具や衣類等使用していただいたり、ご家族の写真等を飾ったりされている	居室は、畳部屋であるが、職員は、本人の身体能力を活かして、ベッドの位置を調整したり、ポータブルトイレを配置し排泄の自立支援に努めている。利用者は、馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の状態に合わせて、安全に過ごせるよう見守りや声かけ、環境整備に努めている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない